

エドアルド・キヨッソーネ画 西郷隆盛肖像

勝海舟肖像(国立国会図書館デジタルコレクション)

特別展

西郷南洲と勝海舟をめぐる幕末群像



葛飾北斎「神奈川沖浪裏」(PUBLIC DOMAIN)

《開催のご挨拶》

令和5年に生誕200年を迎える勝海舟は、西郷を最もよく理解しているのは自分であり、勝を最も理解しているのは西郷だと述べています。

海外情勢に明るい海舟は誠意こそが外交の極意としますが、元治元年(1864)、その人物像を見抜き、初対面の西郷に腐敗し無能な幕府の内情を披瀝。根底の人生哲学が近いことを感じ取ったのか、以来肝胆相照らす仲となります。慶応4年(1868)には、幕府より日本という国家の将来が大事との考えの下に、両雄による江戸城無血開城がなされました。明治10年(1877)に没した西郷南洲翁に対する海舟の想いや幕末群像を取り上げ、勝海舟と西郷南洲を紹介します。

令和5年 4月29日 土 ~ 8月31日 木

◆会場◆鹿児島市西郷南洲顕彰館

I. 両雄の出会いへの布石



昇平丸(昌平丸)



島津斉彬公筆「白鷹之図」

II. 江戸城無血開城



山岡鉄舟書

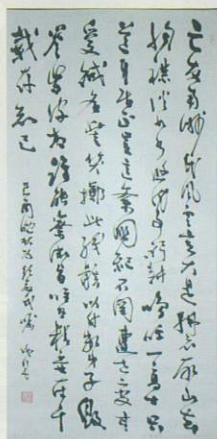


高橋泥舟書

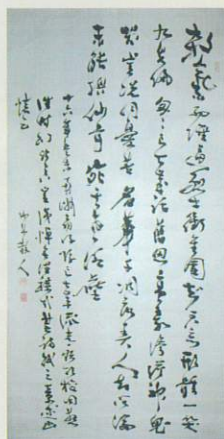


徳川慶喜公書

III. 海舟の西郷への想い



勝海舟書「弔南洲」



勝海舟書「南洲翁歿後七歳追懐」



南洲留魂詩碑



薩摩琵琶

特別展
講演会
【14:00~15:30】

● 6月10日(土)
高柳 毅氏「近代日本の水先案内人 勝海舟の生涯」

※資料保護のため、期間中に展示替えを行います。

鹿児島市
西郷南洲顕彰館

- 住所：鹿児島市上竜尾町 2-1
- TEL：099-247-1100
- 開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 40 分まで）
- 入館料：一般 200 円、小・中学生 100 円、団体 20 名以上 2 割引
- 休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）